

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズを的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

特集

「自分で調べる技術」

NPO活動は、正しい情報に基づき、今何が求められているのかを的確に把握することが重要です。そのために必要な「自分で調べる技術」について、特集しました。

今回は、毎年当センターで実施している「市民活動スタッフ養成講座～NPO・NGOスタッフトレーニング」のプログラムに組み込まれている「市民調査」について、このテーマのファシリテーターである宮内泰介さん（北海道大学大学院文学研究科准教授）から学んだ講義の概要を皆さんにご紹介します。

この講義では、「自分で調べる技術を身につけよう！」をテーマに市民調査の意義を理解し、調査の手法や調査プラン作成、データのまとめ方など、グループワークを交えて学びました。

市民活動団体が事業をする上で、「調べる」ことはとても大切な要素の一つです。思いつきだけで活動するのではなく、データや事例から地域のニーズを把握することで、新たな発見や効果的な活動につながるのです。



講義の様子（ファシリテーター：宮内泰介さん）

1. 「なぜ市民による調査か？」（市民調査の意義）

市民による調査の意義は、市民による活動の根拠、つまり信頼性のある市民活動をすすめるために「調べる」ことにあります。市民活動は、自分たちの「思いこみ」だけで進めると危険な場合もあります。自分たちの視点は社会のほんの一部でしかありません。調べて知ることによって、いろいろ教えられることが多く、「あたりまえを崩すこと」が大切です。さらには、調査すること自体がエンパワメント（個人や集団が能力や力をつけることなど）にもなります。

また、職業的研究者の調査と市民による調査の違いとして、職業的研究者の調査は「学会への貢献」や厳密性、客観性を志向していますが、市民による調査は、問題を発見し、どのように解決していくかを明らかにすることが目的で、社会に向けての説得力が必要です。

2. 「調査はどうすればよいか？」（市民調査の手法）

市民調査の手法として、次の定量調査と定性調査があります。

定量調査は、あることの量的な側面を調べること（統計、観測、質問紙（アンケート）調査など）で、質問紙（アンケート）調査の場合には、特に注意が必要です。目的がハッキリしているか、調査対象は適切か（サンプリング）、調査項目は妥当か、など、

特集：「自分で調べる技術」

十分練らなければ調査結果が歪んでしまいます。

定性調査は、文献・資料による調査、人に聞く調査（聞き取り調査）、観察などで、特に情報収集において、聞き取りは必須です。文献、資料、統計データ、ネット等をいくら検索しても、決して現れてこない情報があるからです。

人に聞く調査の方法は、大きく分けて次のようになります。

- ・ 多数の人に聞く、アンケート調査
- ・ 少数の人に集中して聞く
- ・ 諸団体・キーパーソンに聞く
- ・ 情報のありかを聞く

その際に留意することは、「聞いた話が正しいか」ということ。聞いた話が、ある集団を代表するものなのか、誰に聞くことが適切か、個別の事例研究の場合は、その意味は何か、など全体と部分の感覚を持つことが大切です。また、一次情報（情報源そのものや情報源に近いところから出てきた情報）と二次情報（情報源からの距離があり、一次情報が変形あるいは加工された可能性のある情報）を区別すること。そして、相手によって話が変わったり、その日の体調・気分によって、発言内容が左右されるなど聞き取りには相互作用が生じます。これを常に想定して調査を行うことが大切です。観察は、動物や自然など、言葉で聞くことができないものを対象とする場合の手法です。

情報収集・調査の注意点としては、

- 正確であること
- 自分の思いをいったん括弧に入れること
- 伝えることを考えながら調査すること
- データとキッチンと対話すること
- 最終的に、説得力をもてること

3．調査プランを作ってみよう

調査プランには、次の項目を入れることがポイントです。

- ・ テーマ：このテーマを選んだ理由
- ・ 質問すること：誰に？何を？

- ・ 必要な資料：何を？どこから？

さらに、グループで調べるには、

- ・ グループの中での役割分担 etc.

4．調査データをまとめてみよう

調査して情報を得たとき、どうポイントを抽出したらよいのか？

得られたすべての情報をファイルなどにわかりやすく整理する。必要なときに何度でも取り出せるようにしておく（データとの対話を深める）。

重要な情報を取り出していく。雑多であることに耐えつつ、丁寧にキーワード化（コーディングという）する。

コーディングされた情報を、分類、階層化、体系化していく（KJ法、アウトラインプロセッサの利用）。

以上のように、調査の上、得た情報を整理し、どういう結論になるか考え、結論を導き出す。さらにもっと正しい調査にするには、また元に戻って、つっこんで調べ始めること、調査方法自体も適切なものを考え、繰り返すことが理想的です。

今回は宮内泰介さんの講義内容の中から、部分的に抜粋して掲載しましたが、是非、「自分で調べる技術」を身につけて、今後の活動に活かして頂ければと思います。

今年度も当センターにおいて「市民活動スタッフ養成講座～NPO・NGOスタッフトレーニング2007」を以下の日程で開催します。今回特集した「市民調査」の講義もごさいますので、是非ご参加ください。

日時：全5回（各10:00～17:00）

10月20日（土）27日（土）11月3日（土）
11日（日）17日（土）

詳しくは、当センターホームページをご参照下さい。

<http://www.do-shiminkatsudo.jp>

センターインフォメーション

今年度上半期に開催した講座等を一部紹介します

市民活動基礎講座～思いや経験を市民活動で活かそう～

6月30日(土) 8月29日(水)に東田秀美さん(市民活動スペースアウ・クル代表、NPO 法人旧小熊邸倶楽部理事長)を講師にお招きし、市民活動の基礎知識から組織づくりの入門編について学びました。

「自分の思いが次のステップにつながる講座でした」、「活動しているながら、知らなかったことがたくさんあったことに気づかれました」などの感想をいただきました。

今後も11月12日(月)、12月9日(日)に開催予定です(参加者募集中)



講師：東田秀美さんによる講義の様子



講師：井川智さんによる講義の様子

NPO法人設立講座

8月30日(木)に井川智さん(北海道環境生活部生活局道民活動文化振興課主査)を講師にお招きし、NPO 法人の制度や設立に必要な要件、手続き、書類作成のポイントなどに関する基礎的知識について学びました。

「具体的かつ会計部分について、アドバイスを頂き参考になりました」、「設立の概略がよく分かりました」などの感想をいただきました。

今後も11月13日(火)、12月8日(土)に開催予定です(参加者募集中)

市民活動協働開催講座～癒しケアサービスの体験講座～

8月6日(月) 9月10日(月)にNPO法人日本理美容福祉協会札幌センターと共催で「癒しケアサービスの体験講座」を開催しました。この講座は3回の講座で1回目は、「ヘッドスパ～初心者でもできる寝たまのシャンプー」、2回目は「耳エステ」をテーマに実際に体験しながら学びました。

「実習も丁寧で分かりやすかった、活用していきたいと思う」、「すぐに実践できる内容でとても良かったです」などの感想をいただきました。



講師：村井一則さんによる体験講座の様子



講師：夏川立也さんによる講義の様子

市民活動スキルアップ講座～情報整理術セミナー～

7月28日(土) 29日(日)の2日間、夏川立也さん(コミュニケーションプロデューサー、パワーコミュニケーション主宰)をお招きし、「対人情報を入手し、整理し、活用する」をテーマに情報整理術セミナーを開催しました。

「笑いあり、実践ありでとても楽しい2日間でした」、「プレゼン方法から情報整理術までが、自分の中ですっきりと一つにまとまりました」などの感想をいただきました。

市民活動ミニフェア～市民活動パネル展～

7月20日(金)の「カルチャーナイト」にあわせて、7月19日(木)～20日(金)の2日間、道内で活動している市民活動団体を紹介する「市民活動パネル展」を開催しました。パネルの出展は56団体、2日間の来場者は101名でした。

また、来場者に、活動内容やパネルのデザインなどからお気に入りの団体を投票してもらい、上位3団体を入賞団体とするパネルコンテストを行った結果、入賞団体が次のとおり決定しました。

「見やすく活動に興味をわく」、「アイデアが良い」、「森に対する地道な活動」など沢山のコメントを頂きました。

【パネルコンテスト結果】

- 1位：NPO法人「飛んでけ！車いす」の会 【12票】
 1位：訪問型フリースクール「漂流教室」 【12票】
 3位：NPO法人 森林(もり)遊びサポートセンター 【9票】



第1位 NPO法人「飛んでけ！車いす」の会



第1位 訪問型フリースクール「漂流教室」



第3位 森林(もり)遊びサポートセンター



「パネル展」会場の様子

センターインフォメーション

当センターで開催する事業のお知らせ

市民活動協働開催講座

「これで安心！札幌公共交通おでかけ講座」

日 時：平成19年11月10日(土) 14:00～16:30
場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：札幌の公共交通機関を利用することに不安のある方等

内 容：講師

松本公洋さん(NPO法人交通倶楽部ゆうらん理事長)

本島光二さん(札幌市市民まちづくり局総合交通計画部交通企画課)

札幌市内の公共交通機関の概要説明と「なまら便利なバスマップ」第2版の使い方、インターネットを接続したパソコンを用い「えき・パスナビ」のデモストレーションを行います。

参加料：200円(資料代等)

定 員：20名(先着順)

共 催：NPO法人交通倶楽部ゆうらん

市民活動ミニフェア

「根釧の大地から農業景観のくに・中標津景観活動報告展」

中標津町を中心に展開する道東の景観を活用したまちづくりを伝えるパネル展と活動報告会を開催します。

日 時：

パネル展：平成19年10月6日(土)～10日(水)
10:00～18:00

活動報告会：平成19年10月6日(土)
16:00～17:30

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

入 場：無料

共 催：NPO法人景観ネットワーク

パネル展は、根室地方を被写体としたフォトコンテストの優秀な写真と景観を活用したまちづくり活動のパネルが展示されます。是非、ご来館ください。

問い合わせ・お申し込みは、当センターまで。

講座内容等詳しくは、当センターホームページをご参照下さい。

HPアドレス <http://www.do-shiminkatsudo.jp>

市民活動スキルアップ講座

「共感と信頼を生むプレゼンテーション ～10ページの提案書～」

日 時：平成19年10月5日(金) 13:30～17:00

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：市民活動実践者、市民活動関係者

内 容：講師：川北秀人さん

(IHOE〔人と組織と地球のための国際研究所〕代表者)

NPOを対象とした公募などが増え、助成金の申請書や公募型事業提案制度の応募用書類に記入を求められることが多くなっています。

この講座では、10ページの提案書を作成し、計画するチカラや提案するチカラの向上をはかります。

参加料：1,000円

定 員：20名(先着順)

「ファシリテーション・グラフィック」

日 時：全2回

平成19年10月13日(土) 10:00～17:30

平成19年10月14日(日) 9:30～15:30

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：市民活動実践者、市民活動関係者

内 容：講師

志賀壮史さん(有限会社里山計画研究所代表取締役)

青木将幸さん(青木将幸ファシリテーター事務所代表)

会議やワークショップなどのときに、議論されている内容をホワイトボードや模造紙に書き出していき、参加者の認識を一致させるための、発言を記録・図式化していく手法について学びます。

参加料：3,000円(2日間)

定 員：20名(先着順)

当センターでは、市民活動に関する疑問・質問に相談員がお答えしています。

「NPOって何ですか?」、「ボランティア募集の情報を知りたい」、「助成金に関する情報を得るにはどうしたらいいの?」、「市民活動団体の運営についてアドバイスを受けたい」、「現在の活動団体をNPO法人化したい」など市民活動に関わる相談に相談員がお応えします。

直接来所、電話、FAX、メールなどで、お気軽にご相談下さい。

・TEL：011 261 4440

・FAX：011-251-6789

・E-mail：center@do-shiminkatsudo.jp

・URL：http://www.do-shiminkatsudo.jp

編集後記

天高く馬肥ゆる秋 - 北海道の味覚が一段と美味しくなる季節になりました。しかし、食欲が増すと気になるのが体重です。おいしいものをいただくためにも健康管理が大切ということで、ただ今ダイエットを実施しています。(い)